

 **YAMAHA****PORTATONE****PSR-125****取扱説明書**

## ごあいさつ

このたびはヤマハポーター用PSR-125をお買いもとめいただき、まことにありがとうございます。PSR-125のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、読み終わったあとも、保証書とともに大切に保管して、操作のしかたがわからないときにお読みください。

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## ■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

# 警告

## 電源 / 電源アダプター



電源は必ず交流 100V を使用する。  
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。  
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの  
(PA-3B または PA-3C) を使用する。  
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発  
熱、火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこり  
をきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近  
づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。ま  
た、電源コードに重いものをのせない。  
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因  
になります。

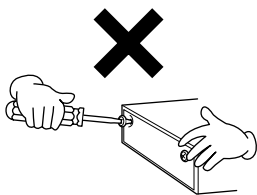
禁止

## 分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解した  
り改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。  
異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い  
上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サー  
ビス拠点にご依頼ください。

禁止



## 水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置か  
ない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いと  
ころで使用しない。  
感電や火災、または故障の原因になります。

禁止



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

禁止

## 火に注意



本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かな  
い。  
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になりま  
す。

禁止

## 異常に気づいたら



電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、ま  
たは、使用中に音が出なくなったり異常なおいや  
煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、  
電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用し  
ている場合は、乾電池を本体から抜く。)  
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、  
お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製  
品サービス拠点に点検をご依頼ください。

必ず実行

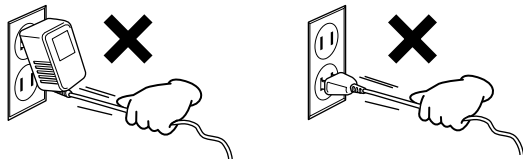
# ⚠ 注意

## 電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



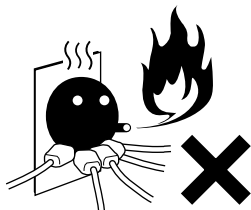
必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



## 乾電池



必ず実行

乾電池はすべて+ / - の極性表示どおりに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なるもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。発熱、火災、液漏れの原因になります。



禁止

乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れてると破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



禁止

乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどなどのおそれがあります。

## 設置



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々を転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

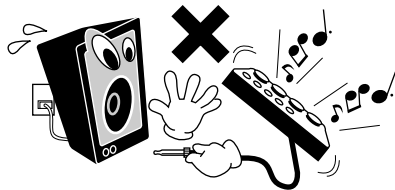
指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

## 接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。感電または機器の損傷の原因になることがあります。



## 手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

## 使用時の注意



ご注意ください

本体のすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルや鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様や他の方々けがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「切」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

## PSR-125の特長

バラエティ豊かでリアルな100音色(AWMサウンド)

さまざまなリズムや伴奏スタイル(100種類)

いろいろなジャンルのデモ20曲(デモンストレーション演奏)、その曲でマイナスイオン演奏もOK。

メロディ演奏が自由に楽しめるジャムトラック(コード進行付の伴奏：20パターン)

## 目次

演奏の準備 .....	7	デモ曲をマイナスイオン演奏してみましょう .....	17
電源の準備 .....	7	ジャムトラックを使って演奏してみましょう .....	18
PHONES/OUTPUT端子について .....	7	ジャムトラックコード進行リスト .....	19
譜面立ての取り付け方 .....	7	ワンタッチセッティングを活用してみましょう .....	20
各部の名称 .....	8	デモ曲(ソング)楽譜集 .....	21
デモ曲を鳴らしてみましょう (基本的な操作方法の説明) .....	10	ワンタッチセッティングリスト .....	31
基本的な操作方法 .....	10	故障かな?と思ったら .....	32
ボイス(音色)を選んで、演奏してみましょう .....	12	オプション(別売)商品のご紹介 .....	32
ボイスの選び方 .....	12	仕様 .....	33
パーカッションボイスについて .....	13		
いろいろなスタイル(伴奏)で演奏してみましょう .....	14		
スタイルの選び方 .....	14		
マルチフィンガリングについて .....	16		

### 同梱品について

PSR-125の同梱品を確認してください。

- ・ 譜面立て
- ・ 取扱説明書

### 音楽を楽しむエチケット



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽もときと場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。

静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。

音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。





# 演奏の準備

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

## 電源の準備

PSR-125は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

### 家庭用コンセントから電源をとるときは

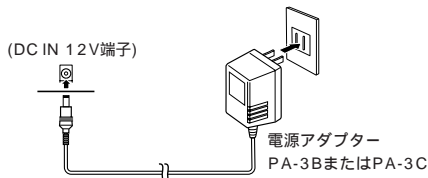
- ① 本体の電源スイッチが切れている(STANDBYになっている)ことを確認してください。

**必ず実行** ・電源アダプターをご使用になる場合は、別売のアダプターPA-3BまたはPA-3Cをご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

- ② アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 12V (電源アダプター)端子にさし込みます。

- ③ アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。

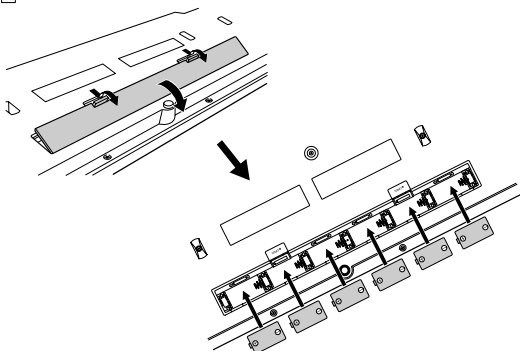
**必ず実行** ・使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。  
・電源を入れたまま約30分間何の操作もしないと、自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ機能)



### 乾電池を使うときは

- ① PSR-125を柔らかい布などの上で裏返し、電池ボタンをはずします。
- ② 市販の乾電池(単2乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池ボタンを閉めます。

**メモ** ・乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

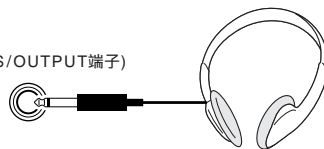


乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したリディスプレイの表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

- 必ず実行** ・乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- 必ず実行** ・乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- 必ず実行** ・長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

## PHONES/OUTPUT端子について

(PHONES/OUTPUT端子)



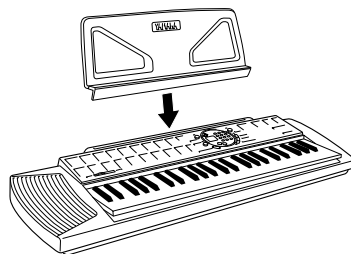
接続すると自動的にPSR-125のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、PSR-125の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

- 禁止** ・大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- 必ず実行** ・PSR-125を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

## 譜面立ての取り付け方

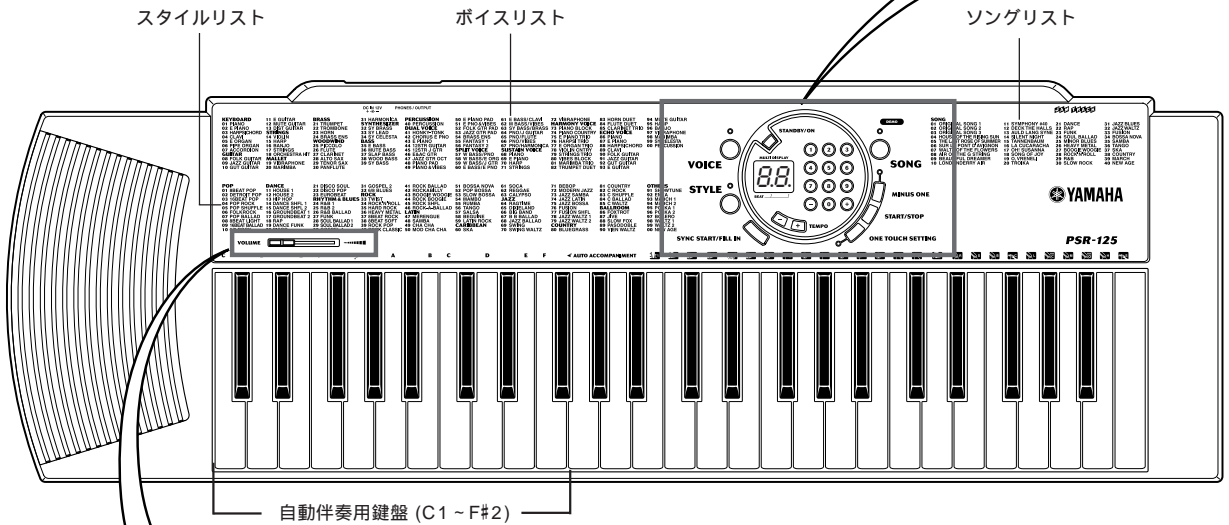
楽譜を見ながら演奏するときは、譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-125のパネル上奥のスロットにさし込んでください。





# 各部の名称

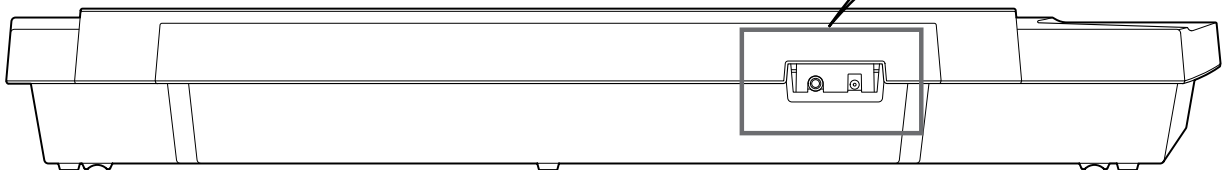
## フロントパネル



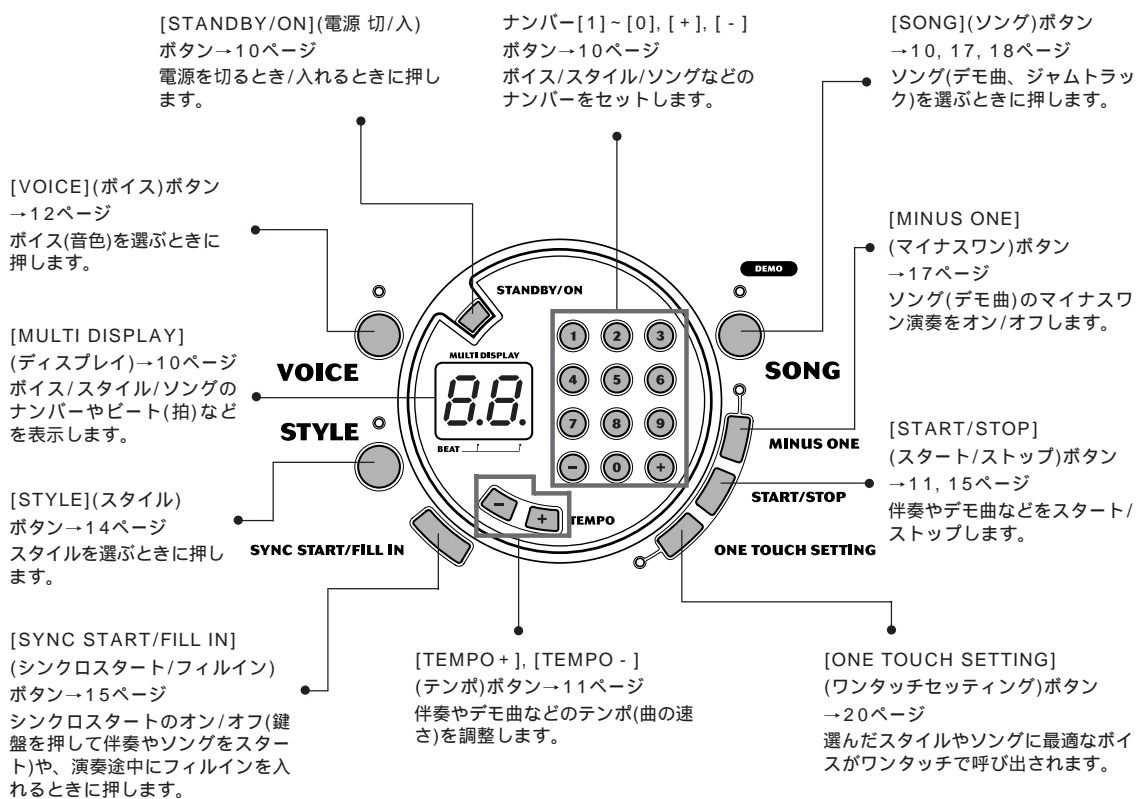
[VOLUME](音量)コントロール→11ページ  
PSR-125の音量を調整します。



## リアパネル







## PHONES/OUTPUT

(ヘッドフォン/外部出力)端子  
→7ページ  
PSR-125の演奏を、ヘッドフォン  
やアンプなどへ出力します。

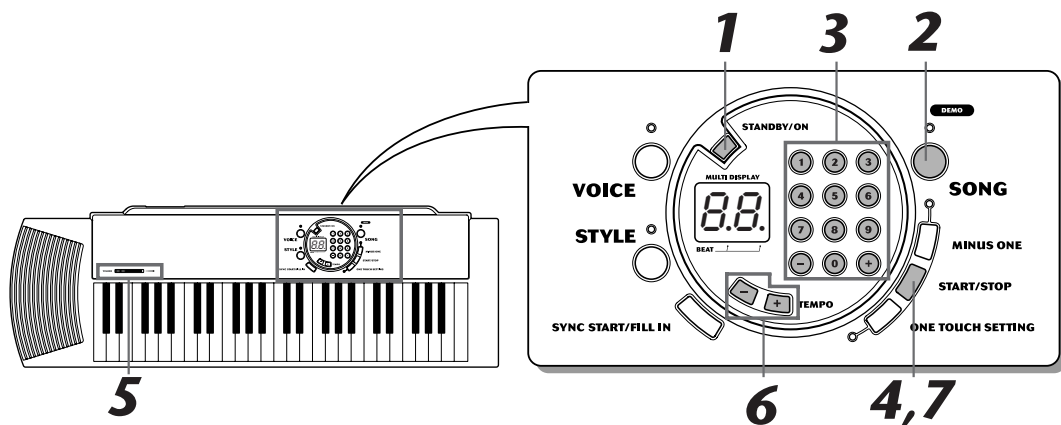
## DC IN 12V

(電源アダプター)端子→7ページ  
別売の電源アダプター(PA-3Bまた  
はPA-3C)をさし込みます。



# デモ曲を鳴らしてみましょう (基本的な操作方法の説明)

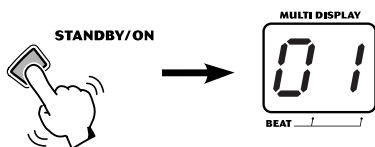
PSR-125は[VOICE]/[STYLE]/[SONG]ボタンとナンバー[1]~[0], [+], [-]ボタン、[TEMPO+], [TEMPO-]ボタン、[START/STOP]ボタン、[VOLUME]コントロールを使って基本的な操作を行います。デモ曲(ソング)を鳴らしながら、この操作を覚えましょう。



## 基本的な操作方法

### 1 [STANDBY/ON]ボタンを押して、電源を入れます。

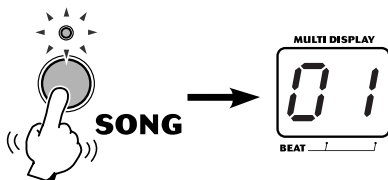
電源が入るとボイスランプが点灯し、ディスプレイにボイスナンバー01が表示されます。



PSR-125には、ボイス/スタイル/ソングの3つのモードがあります。目的のモードのボタン([VOICE]/[STYLE]/[SONG])を押すと、選ばれたモードのランプが点灯します。

- [VOICE]ボタン ..... 鍵盤で演奏する音色を選ぶとき
- [STYLE]ボタン ..... 伴奏のリズムスタイルを選ぶとき
- [SONG]ボタン ..... デモ曲/マイナスイオン演奏する曲やジャムトラックを選ぶとき

### 2 [SONG]ボタンを押して、SONGのランプを点灯させます。



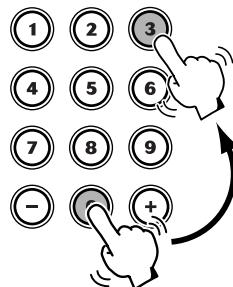
ディスプレイには、選ばれているソングナンバーが表示されます。

**メモ** ・電源を入れたときは、ソングナンバー01が選ばれています。

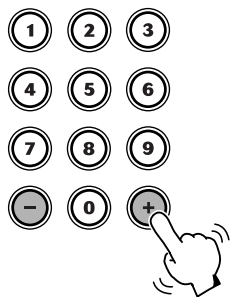
### 3 ナンバー[1]~[0], [+], [-]ボタンを使ってソングナンバーを選びます。

ナンバーを選ぶときは「10の位」「1の位」の順番に2つのナンバーボタンを押してください。

たとえば、ソングナンバー03「オリジナルソング3」を選ぶ場合は、[0](10の位) [3](1の位)の順番でナンバーボタンを押します。



[+], [-]ボタンを押してナンバーを変えることもできます。[+]ボタンを一度押すとひとつ大きなナンバーに変わり、[-]ボタンを一度押すとひとつ小さなナンバーに変わります。押し続けると、ナンバーは連続で増減します。たとえば、ソングナンバー00を選んだあとに[+]ボタンを一度押すと、ソングナンバー01に変わります。



ナンバーのキャンセル(取り消し)

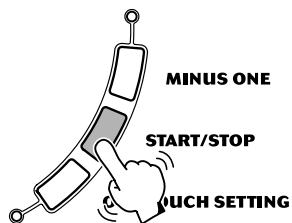
10の位のナンバーボタンを押したあと、10秒間何の操作もしないと、10の位のナンバーは自動的にキャンセルされます。また、10の位のナンバーボタンを押したあと、ナンバーボタン以外のボタンを押しても、キャンセルされます。



・ワンタッチセッティングランプが点灯しているときにソングを選ぶと、そのソングのメロディに使われているボイスが自動的に呼び出されます。(20ページ参照)

## 4 デモ曲をスタートします。

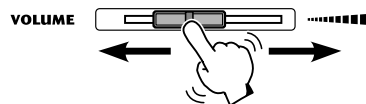
[START/STOP]ボタンを押すとデモ曲が始まり、ソングナンバーの順番に次々とデモ曲が演奏されます。(ソングナンバー20「トロイカ」の演奏が終了すると、ソングナンバー01「オリジナルソング1」の演奏が始まります。)



・デモ曲をスタートさせると、現在選ばれているスタイルは、そのデモ曲で使用されているスタイルに変更されます。(14ページ「スタイルの選び方」参照)

## 5 音量を調整します。

[VOLUME]コントロールを左方向に動かすと音量が小さくなり、右方向に動かすと音量が大きくなります。



## 6 テンポを調整します。

[TEMPO +], [TEMPO -]ボタンのどちらかを押すと、ディスプレイに現在設定されているテンポが表示されます。

[TEMPO +]ボタンを押すとテンポが速く、[TEMPO -]ボタンを押すとテンポが遅くなり、[TEMPO +], [TEMPO -]ボタンを同時に押すと標準テンポ(各デモ曲の最適なテンポ)に戻ります。

[TEMPO +]または[TEMPO -]ボタンを押し続けると、テンポは連続で増減します。

テンポの設定範囲は♩=40~240ですが、ディスプレイの表示は実際のテンポの数値の1/4(10~60)で表示します。したがってディスプレイの数値が「1」ずつ増減すると、実際のテンポの数値は「4」ずつ増減します。

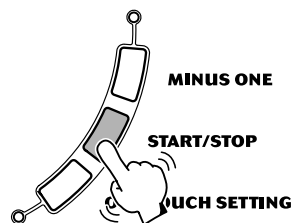
ディスプレイ表示	実際のテンポ
29	♩=116
↑ [-]ボタンを押す	↑ -4
30	♩=120
↓ [+]ボタンを押す	↓ +4
31	♩=124



・デモ曲を選ぶと、そのデモ曲に適した標準テンポが自動的に設定されます。  
・[TEMPO +], [TEMPO -]ボタンを押したあと、約2秒間何の操作もしないと、ディスプレイは自動的にボイスナンバー/スタイルナンバー/ソングナンバー表示のいずれかに戻ります。

## 7 デモ曲をストップします。

[START/STOP]ボタンを押すと、デモ曲の演奏が止まります。





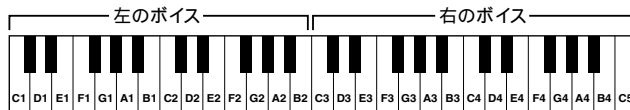
# ボイス(音色)を選んで、演奏してみましょう

PSR-125には、先進のAWM(アドバンスド・ウェーブ・メモリー)音源を利用した高品質な100種類のボイスが入っています。100音色の中には以下のような効果が付いた音色もあります。

パーカッションボイス(40, 00) ..... 鍵盤を弾いて、いろいろなパーカッションサウンドが楽しめます。パーカッションリストは13ページを参照してください。

デュアルボイス(41~56) ..... 鍵盤を弾くと2つのボイスが重なって鳴ります。

スプリットボイス(57~67) ..... C3から右の鍵盤で一つのボイス、B2から左の鍵盤でもう一つのボイスが演奏できます。



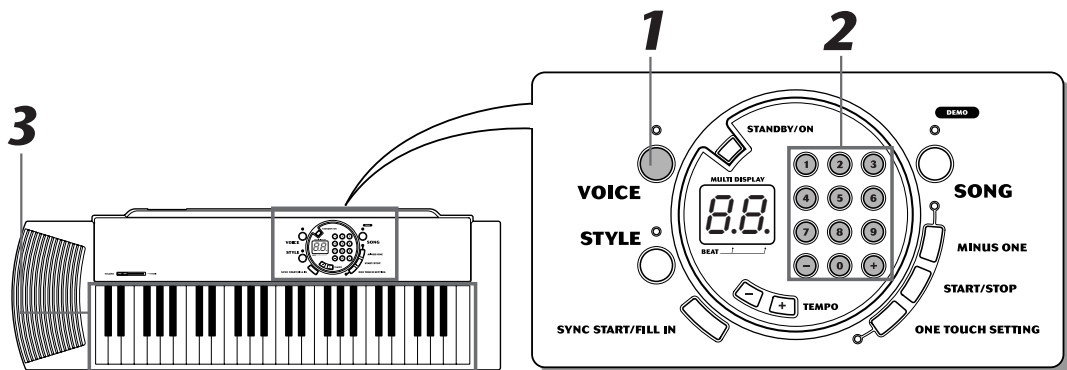
サステインボイス(68~72) ..... サステイン(余韻効果)がかかったボイスです。

ハーモニーボイス(73~85) ..... 演奏した音に加え、1~3音のハーモニー音が自動的に付きます。

エコーボイス(86~00) ..... エコー(こだま効果)がかかったボイスです。



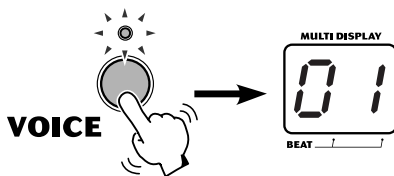
- ・ハーモニーボイスで演奏できるのは1音だけです。複数の鍵盤を押さえると、いちばん最後に押さえられた音に対して、Cコードを基本としたハーモニー音が付けられます。ただし、スタイル演奏中、ストップアカンパニメント(15ページ参照)演奏中は、押さえられたコード(16ページ参照)を基本としたハーモニー音が付けられます。また、ソングのジャムトラック演奏中は、ジャムトラックのコードを基本としたハーモニー音が付けられます。
- ・各ボイスは鍵盤を弾いたとき、最適な音程(オクターブ)で鳴るようにセットされています。



## ボイスの選び方

**1** [VOICE]ボタンを押して、ランプを点灯させます。

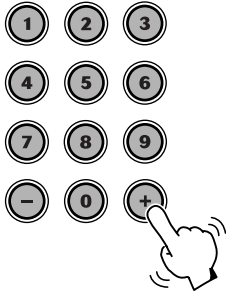
ディスプレイには、選ばれているボイスナンバーが表示されます。



**2** ナンバー[1]~[0], [+], [-]ボタンを使ってボイスナンバーを選びます。

ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。

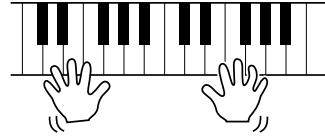
[+], [-]ボタンを押してナンバーを変えることもできます。[+]ボタンを一度押すとひとつ大きなナンバーに変わり、[-]ボタンを一度押すとひとつ小さなナンバーに変わります。押し続けるとナンバーは連続で変わります。



・電源を入れたとき、ボイスナンバーは01が選ばれています。

### 3 演奏してみましょう。

好みのボイスを選んだら、演奏してみましょう。また、2の手順をくり返して、いろいろなボイスで演奏してみましょう。

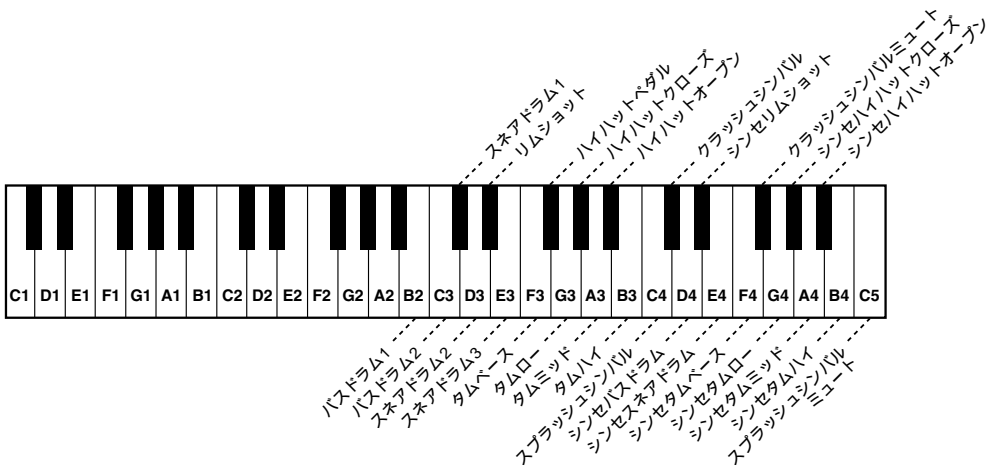


・PSR-125の最大同時発音数は12音です。デュアルボイスやスプリットボイスなどは、演奏すると2つのボイスが同時に発音されるため、最大同時発音数が少なくなります。また、同時発音数にはスタイルやソングなどの発音も含まれるため、鍵盤演奏とスタイルやソング演奏などを同時に行ない、最大同時発音数を越えると、ある音が途中で消えたり鳴らなったりすることがあります。

・ボイスランプの点灯中に、[START/STOP]ボタンを押すと、選ばれているスタイルのリズムだけが演奏されます。

## パーカッションボイスについて

ボイスナンバー40または00のパーカッションを選ぶと、以下のパーカッションボイスが鍵盤で演奏できます。

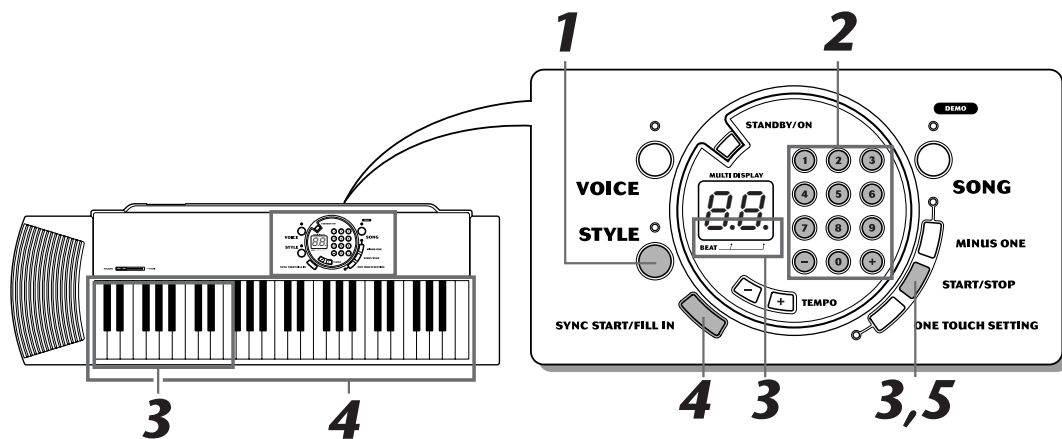




# いろいろなスタイル(伴奏)で演奏してみましょう

PSR-125は、100種類のスタイル(リズム/自動伴奏機能)を持っています。「自動伴奏機能」とは、左手で演奏したコード(鍵盤上部にプリントされている「◀」から左の鍵盤)から、PSR-125が自動的に伴奏(ベース音とコード音)を付ける機能です。

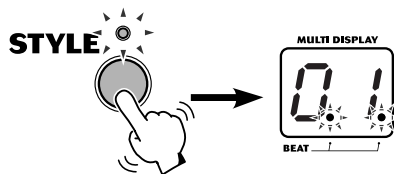
好みのスタイルを選び、自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。



## スタイルの選び方

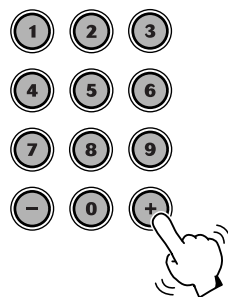
### 1 [STYLE]ボタンを押して、ランプを点灯させます。

ディスプレイには、選ばれているスタイルナンバーが表示され、ビートディスプレイの2つのLEDドットが点滅し、シンクロスタート待機状態になります。



- ・シンクロスタート待機状態とは、自動伴奏用鍵盤を弾くまで、リズムや伴奏がスタートせず待っていてくれる状態のことです。
- ・シンクロスタート待機状態で、[SYNC START/FILL IN]ボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。

[+], [-]ボタンを押してナンバーを変えることもできます。[+]ボタンを一度押すとひとつ大きなナンバーに変わり、[-]ボタンを一度押すとひとつ小さなナンバーに変わります。押し続けると連続でナンバーが変わります。



- ・電源を入れたとき、スタイルナンバーは01が選ばれています。
- ・リズムがストップしているときにスタイルを選ぶと、そのスタイルに適した標準テンポが自動的に選ばれますが、リズム演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。
- ・ワンタッチセッティングランプが点灯しているときにスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なボイスが自動的に呼び出されます。(20ページ参照)

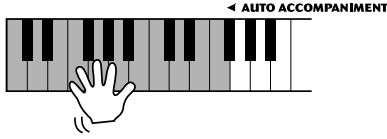
### 2 ナンバー[1]~[0], [+], [-]ボタンを使ってスタイルナンバーを選びます。

ナンバー[1]~[0]ボタンを使って、スタイルナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。



### 3 自動伴奏をスタートします。

自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、同時にリズムや伴奏がスタートします(シンクロスタート)。押さえたコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。



PSR-125の自動伴奏は、マルチフィンガリングというコード検出方法で演奏されます。詳細は16ページを参照してください。

[START/STOP]ボタンを押して自動伴奏をスタートすることもできます。この場合、まずリズムだけの演奏が始まり、◀より左の自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると伴奏が加わります。押さえたコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。



- ・伴奏の演奏中も、ボイスを変更することができます。[VOICE]ボタンを押したあとに、ボイスを変更してください。
- ・ボイスランプの点灯中に、[START/STOP]ボタンを押すと、選ばれているスタイルのリズムだけが演奏されます。
- ・伴奏の演奏中にスタイルを変更すると、次の小節から新しいスタイルの伴奏が始まります。
- ・スタイルランプの点灯中、伴奏をスタートさせずに([SYNC START/FILL IN]ボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます)、自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、すべてのスタイルに共通のベース音とコード音が鳴ります。(ストップアカンパニメント)
- ・伴奏の演奏中に[SONG]ボタンを押すと、次の小節から選ばれているデモ曲やジャムトラックが演奏されます。

#### ビートディスプレイについて

リズムや伴奏の演奏中は、ディスプレイ下部の2つのビートランプが、設定されたテンポに従って図のように点滅し、ビート(拍)を表示します。(デモ曲やジャムトラックの演奏中も同様に点滅します。)

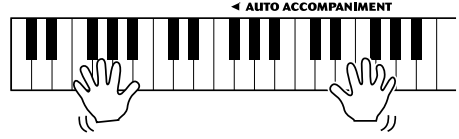


4拍子系    3拍子系

- 1拍目
- 2拍目
- 3拍目
- 4拍目

### 4 自動伴奏に合わせてメロディを演奏します。

左手でコードを変えながら、◀より右の鍵盤を使って、伴奏に合わせてメロディを演奏してみましょう。



- ・11ページの「6テンポを調整します」を参照して、自分の演奏しやすいテンポに調整しましょう。

#### フィルイン

フィルインとは、曲の流れに区切りをつけて、演奏を盛り上げるパターンです。フィルインのパターンはスタイルごとに異なります。

演奏中に[SYNC START/FILL IN]ボタンを押すと、次の拍からフィルインが演奏されます。

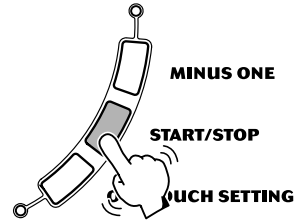
SYNC START/FILL IN



- ・小節内の最終拍以降に、[SYNC START/FILL IN]ボタンを押すと、次の小節からフィルインが始まります。
- ・[SYNC START/FILL IN]ボタンを押し続けると、フィルインがくり返し演奏されます。

### 5 自動伴奏をストップします。

伴奏をストップするには、[START/STOP]ボタンを押します。エンディングが演奏され、伴奏が止まります。

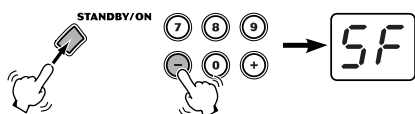


- ・伴奏がストップすると、ビートディスプレイが点滅して、シンクロスタート待機状態になります。

## マルチフィンガリングについて

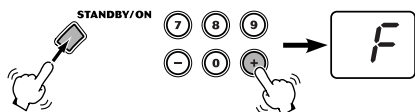
自動伴奏用鍵盤(◀マークから左の鍵盤)でのコードの押さえ方は、マルチフィンガリングという方法です。マルチフィンガリングとは、コードをシングルフィンガー(コードの簡単な押さえ方)で押さえても、フィンガード(通常のコードの押さえ方)で押さえても、PSR-125がそのコードを自動的に識別するという便利な機能です。

PSR-125は、電源を入れると自動的にマルチフィンガリングになりますが、シングルフィンガー、フィンガードいずれかに固定することもできます。



シングルフィンガーに固定するには

電源を切り、[-]ボタンを押しながらもう一度電源を入れます。ディスプレイにSFが表示され、シングルフィンガーに固定されます。



フィンガードに固定するには

電源を切り、[+]ボタンを押しながらもう一度電源を入れます。ディスプレイにFが表示され、フィンガードに固定されます。

一度電源を切って電源を入れ直すとマルチフィンガリングに戻ります。

### シングルフィンガー

自動伴奏用鍵盤で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。

シングルフィンガーのコードの押さえ方

[Cの例]

**C**  
CM



メジャー(M)コード  
ルートキー(根音)を押さえてください。

**Cm**



マイナー(m)コード  
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。

**C7**



セブンス(7)コード  
ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。

**Cm7**



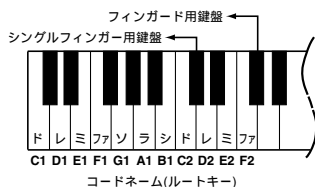
マイナーセブンス(m7)コード  
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。



- ・コード押鍵は自動伴奏用鍵盤の範囲内であれば、オクターブは関係ありません。たとえば、自動伴奏用鍵盤にあるC1とC2はどちらを押さえても同じ伴奏が演奏されます。
- ・シングルフィンガーモードに固定した場合、自動伴奏用鍵盤はC1-C#2に変更されます。



ルートキー(根音)と押さえる鍵盤



コードネーム(ルートキー)

### フィンガード

自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、自動的にコード名が選ばれ、そのコードで伴奏が演奏されます。

フィンガードのコードの押さえ方(基本形)

[Cの例]

**C**



**C7sus4**



**Cm**



**Caug(7)**



**C7**



**Cdim(7)**



**Cm7**



**C7b5**



**CM7**



**CmM7**



**Cm7b5**



**Cm6**



**Csus4**



**C9**



- ・カッコ( )内の鍵盤は押さえずなくてもかまいません。
- ・コードはすべて基本形で書かれていますが、その転回形も可能です。ただし、以下の場合を例外とします。
- ・aug、dim(7)は押鍵の最低音を根音とみなします。
- ・7b5は押鍵の最低音を根音または7とみなします。
- ・m6と9は基本形だけを受け付けます。
- ・aug7はaugとして、dim7はdimとみなします。
- ・フィンガードに固定した場合、黒鍵を含めて隣り合う3音を押さえると、コード演奏がキャンセルされ、リズムのみの演奏になります。

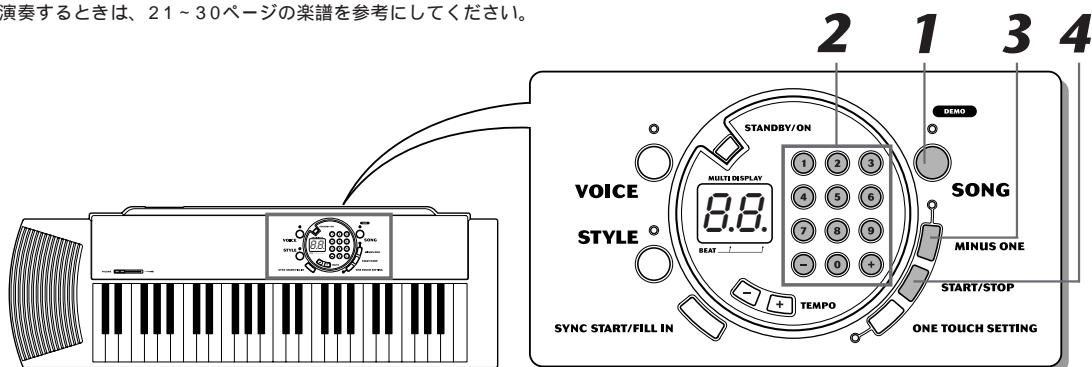


# デモ曲をマイナスワン演奏してみましょ

PSR-125にはバラエティに富んだ20種類のデモ曲(ソング)が入っています。マイナスワン演奏とはデモ曲のメロディパートを消して、消したメロディパートを鍵盤で演奏できる機能のことです。

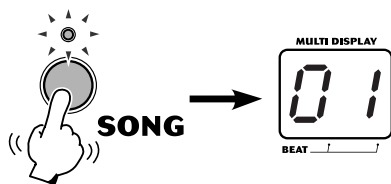
10ページ「デモ曲を鳴らしてみましょ」を参照してデモ曲を聞き、好みのデモ曲を選んでマイナスワン演奏してみましょ。

演奏するときは、21~30ページの楽譜を参考にしてください。

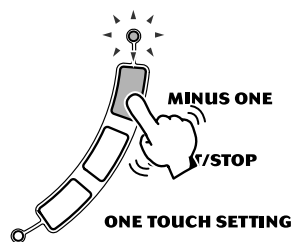


## 1 [SONG]ボタンを押して、ランプを点灯させます。

ディスプレイには、選ばれているソングナンバーが表示されます。

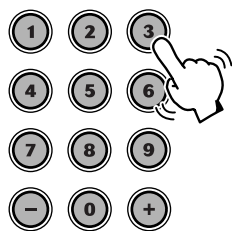


## 3 [MINUS ONE]ボタンを押して、ランプを点灯させます。



## 2 ナンバー[1]~[0],[+],[-]ボタンを使ってソングナンバーを選びます。

ナンバー[1]~[0]ボタンを使って、01~20の中からソングナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。



メモ ・電源を入れたとき、ソングナンバーは01が選ばれています。

## 4 マイナスワン演奏をスタート/ストップします。

[START/STOP]ボタンを押すと、デモ曲のマイナスワン演奏がスタートします。楽譜を見ながらデモ曲のメロディパートを演奏してみましょ。

マイナスワン演奏は、選んだ曲をくり返し演奏します。マイナスワン演奏をストップするには、[START/STOP]ボタンを押します。



- メモ ・マイナスワン演奏中に、[MINUS ONE]ボタンを押すと、メロディパートが鳴ります。
- メモ ・スタート前に[SYNC START/FILL IN]ボタンを押せば、鍵盤を押さえてマイナスワン演奏をスタートすることができます。(シンクロスタート)
- メモ ・ワンタッチセッティングのランプが点灯しているときにデモ曲を選ぶと、その曲のメロディに使われているボイスが自動的に呼び出されます。(20ページ参照)
- メモ ・スタイル演奏時に、[MINUS ONE]ボタンを押すと、リズムとベースだけの演奏になります。

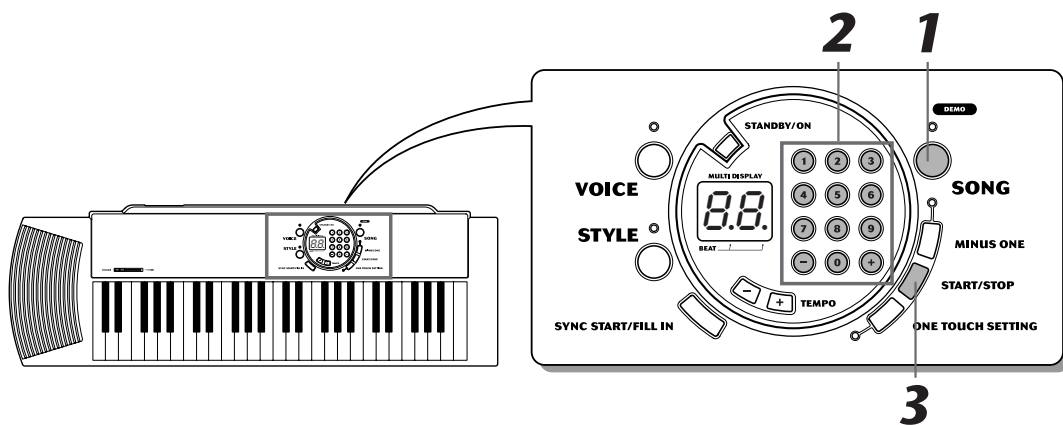


# ジャムトラックを使って演奏してみましょう

PSR-125のソングには、20種類のジャムトラック(ソングナンバー21~40)が入っています。ジャムトラックとは、いろいろな音楽スタイルの典型的なコード(和音)進行がプログラムされているものです。

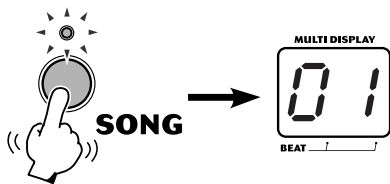
ジャムトラックを鳴らしながら、すべての鍵盤を使ってメロディを演奏することができます。好みのジャムトラックを選び、伴奏に合わせて演奏してみましょう。

演奏するときは、19ページ「ジャムトラックコード進行リスト」を参考にしてください。



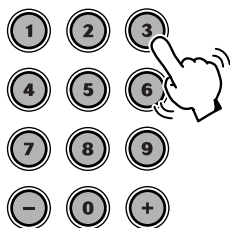
## 1 [SONG]ボタンを押して、ランプを点灯させます。

ディスプレイには、選ばれているソングナンバーが表示されます。



## 2 ナンバー[1]~[0], [+], [-]ボタンを使ってジャムトラックのナンバーを選びます。

ナンバー[1]~[0]ボタンを使って、21~40の中からジャムトラックのナンバーを選びます。ナンバーは「10の位」、「1の位」の順番に、2つのナンバーボタンを押してください。



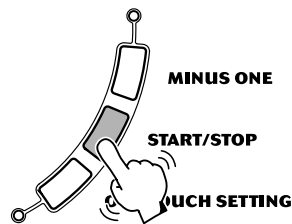
メモ ・ ジャムトラックを選ぶと、そのジャムトラックに適した標準テンポが自動的に呼び出されます。

## 3 ジャムトラックをスタート/ストップします。

[START/STOP]ボタンを押すと、ジャムトラックの演奏がスタートします。伴奏に合わせて、自由に演奏してみましょう。

ジャムトラックは、同じコードパターンをくり返し演奏します。

ジャムトラックの演奏をストップするには、[START/STOP]ボタンを押します。



- メモ ・ ワンタッチセッティングランプが点灯しているときにジャムトラックを選ぶと、そのジャムトラックのメロディに最適なボイスが自動的に呼び出されます。(20ページ参照)
- ・ スタート前に[SYNC START/FILL IN]ボタンを押せば、鍵盤を押さえてジャムトラックをスタートすることができます。(シンクロスタート)

## ジャムトラックコード進行リスト

### 21 ダンス (♩ = 120)

Am7	×	Em7	×
Dm7	×	Am7	×

### 22 ラップ (♩ = 116)

Am7	×	×	×
Am7	×	×	×

### 23 ファンク (♩ = 92)

C7	F7	C7	F7
----	----	----	----

### 24 ソウルバラード (♩ = 104)

C	×	×	×
Am	×	×	×
Dm7	×	×	×
G7	×	Gaug	×

### 25 マイナーブルース (♩ = 144)

Am	×	×	×
Dm	×	Am	×
E	×	Am	×

### 26 ヘビーメタル (♩ = 120)

C	×	B♭	C
---	---	----	---

### 27 ブギウギ (♩ = 136)

C	×	×	×
F	×	C	×
G	F	C	G

### 28 ロックンロール (♩ = 144)

C	Am	F	G
---	----	---	---

### 29 リズム&ブルース (♩ = 136)

C7	F7	G7	F7	C7
----	----	----	----	----

### 30 スローロック (♩ = 88)

C	Am7	F	G7
---	-----	---	----

### 31 ジャズブルース (♩ = 160)

C7	F7	C7	×		
F7	×	C7	A7		
Dm7	G7	C7	A7	Dm7	G7

### 32 ジャズワルツ (♩ = 192)

C7	×	×	×
C7	×	×	×
F7	×	×	×
C7	×	×	×
G7	×	G#7	G7
C7	×	×	×

### 33 フェュージョン (♩ = 128)

Dm7	×	G7	×
-----	---	----	---

### 34 ボサノバ (♩ = 160)

Em7	E♭7	Dm7	D♭7
-----	-----	-----	-----

### 35 サンバ (♩ = 112)

C	F	G	×	×	×
---	---	---	---	---	---

### 36 タンゴ (♩ = 124)

E7	×	Am	×
----	---	----	---

### 37 スカ (♩ = 160)

Am	×	Dm	×
----	---	----	---

### 38 カントリー (♩ = 120)

C	F	C	G7	
C	F	C	G7	C

### 39 マーチ (♩ = 116)

C	×	G7	C
---	---	----	---

### 40 ニューエイジ (♩ = 84)

C	×	C#	C
---	---	----	---




# ワンタッチセッティングを 活用してみましょう

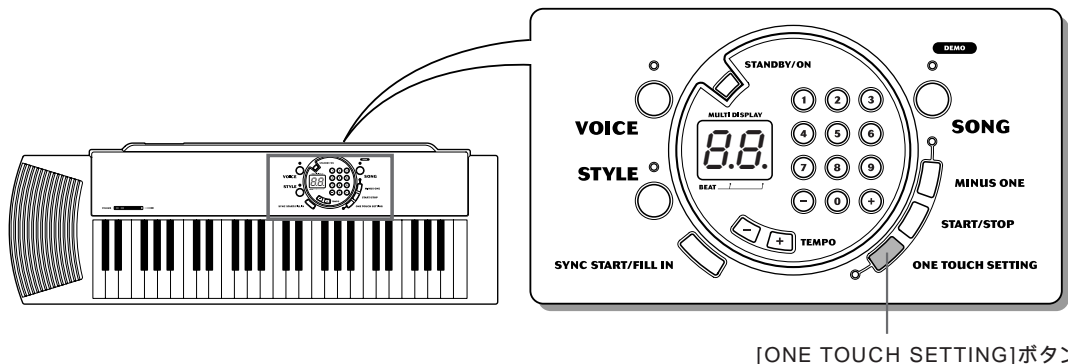
PSR-125には、100種類のスタイルと40種類のソングそれぞれに、最も適したボイスがあらかじめ設定されています。

[ONE TOUCH SETTING]ボタンを押せば、ワンタッチでスタイルやソングに最適なボイスとテンポを呼び出すことができます。

ワンタッチセッティングで呼び出されるボイスとテンポは、以下のページを参照してください。

- スタイル ..... 31ページ「ワンタッチセッティングリスト」
- ソング(01～20：デモ曲) ..... 21～30ページ「楽譜内参照」
- ソング(21～40：ジャムトラック) ..... 31ページ「ワンタッチセッティングリスト」

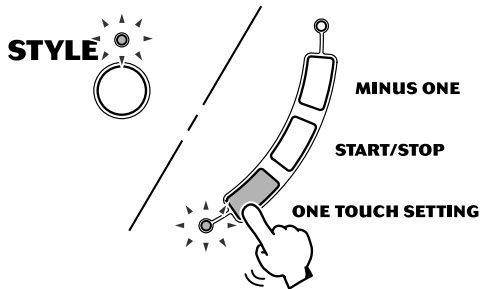
 ・電源を入れたとき、ワンタッチセッティングはオフ(ランプ消灯)に設定されています。




[ONE TOUCH SETTING]ボタン

## スタイルモード(スタイルランプ点灯時)

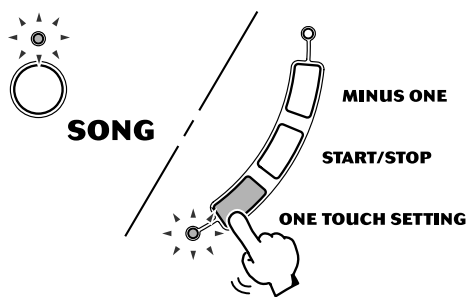
[ONE TOUCH SETTING]ボタンを押してランプを点灯させると、選ばれているスタイルに最適なボイス、および標準テンポが呼び出されます。(31ページ、ワンタッチセッティングリスト参照)




 ・スタイルの演奏中や停止中に関わらず、[ONE TOUCH SETTING]ボタンは有効です。

## ソングモード(ソングランプ点灯時)

[ONE TOUCH SETTING]ボタンを押してランプを点灯させると、選ばれているデモ曲のメロディに使われているボイス、または選ばれているジャムトラックに最適なボイス、および標準テンポが呼び出されます。



 ・デモ曲やジャムトラックの中には、曲やコード進行に従って途中でボイスが変わるものがあります。  
・デモ曲やジャムトラックの演奏中/停止中に関わらず、[ONE TOUCH SETTING]ボタンは有効です。



# ワンタッチセッティングリスト

[ONE TOUCH SETTING]ボタンを押すと、以下のボイスとテンポが自動的に選ばれます。

## スタイル

スタイルナンバー/スタイル名	ボイスナンバー/ボイス名	テンポ	スタイルナンバー/スタイル名	ボイスナンバー/ボイス名	テンポ
ポップ					
01	8 ビートポップ	32 シンセプラス	51	ボサノバ	09 ジャズギター
02	デトロイトポップ	33 シンセリード	52	ポップボサ	31 ハーモニカ
03	16ビートポップ	42 コーラスエレビ	53	スローボサ	19 ビブラフォン
04	ポップロック	56 ファンタジー2	54	マンボ	22 トロンボーン
05	ポップシャッフル	50 エレビパッド	55	ルンバ	26 フルーツ
06	フォークロック	52 フォークギターパッド	56	タンゴ	07 アコーディオン
07	ポップバラード	01 ピアノ	57	サルサ	82 トランペットデュエット
08	8ビートライト	26 フルーツ	58	ビギン	22 トロンボーン
09	16ビートバラード	19 ビブラフォン	59	ラテンロック	81 マリンパトリオ
10	6/8ロック	05 エレクトリックオルガン	カリビアン		
ダンス					
11	ハウス1	50 エレビパッド	60	スカ	22 トロンボーン
12	ハウス2	53 ジャズギターパッド	61	ソカ	05 エレクトリックオルガン
13	ヒップホップ	55 ファンタジー1	62	レゲエ	24 プラスアンサンブル
14	ダンスシャッフル1	51 エレビとビブラフォン	63	カリブソ	20 マリンバ
15	ダンスシャッフル2	52 フォークギターパッド	ジャズ		
16	グランドビート1	49 ピアノとビブラフォン	64	ラグタイム	82 トランペットデュエット
17	グランドビート2	24 プラスアンサンブル	65	デキシールランド	22 トロンボーン
18	ラップ	18 オークストラヒット	66	ビッグバンド	81 マリンパトリオ
19	ダンスファンク	04 クラビ	67	ビッグバンドバラード	72 ビブラフォンサステイン
20	ディスコ	30 パンフルーツ	68	ジャズバラード	26 フルーツ
21	ディスコソウル	50 エレビパッド	69	スイング	72 ビブラフォンサステイン
22	ディスコポップ	32 シンセプラス	70	スイングワルツ	21 トランペット
23	ユーロビート	54 プラスアンサンブルデュアル	71	ビバップ	29 テナーサククス
リズム&ブルース					
24	リズム&ブルース1	50 エレビパッド	72	モダンジャズ	80 ビブラフォンブロック
25	リズム&ブルース2	82 トランペットデュエット	73	ジャズサンバ	26 フルーツ
26	リズム&ブルースバラード	31 ハーモニカ	74	ジャズラテン	33 シンセリード
27	ファンク	22 トロンボーン	75	ジャズボサ	84 フルーツデュエット
28	ソウルバラード1	42 コーラスエレビ	76	フュージョン	33 シンセリード
29	ソウルバラード2	19 ビブラフォン	77	フュージョンシャッフル	49 ピアノとビブラフォン
30	ゴスペル1	05 エレクトリックオルガン	78	ジャズワルツ1	50 エレビパッド
31	ゴスペル2	05 エレクトリックオルガン	79	ジャズワルツ2	31 ハーモニカ
32	6/8ブルース	29 テナーサククス	カントリー		
ロック					
33	ツイスト	73 ピアノブロック	80	ブルークラス	07 アコーディオン
34	ロックロール	05 エレクトリックオルガン	81	カントリー	74 ピアノカントリー
35	ハードロック	44 12弦ギター	82	カントリーロック	05 エレクトリックオルガン
36	ヘビーメタル	13 ディストーションギター	83	カントリーシャッフル	78 バイオリンカントリー
37	8ビートロック	52 フォークギターパッド	84	カントリーバラード	31 ハーモニカ
38	8ビートソフト	30 パンフルーツ	85	カントリーワルツ	80 ビブラフォンブロック
39	ロックポップ	42 コーラスエレビ	ポールのーム		
40	ロッククラシック	68 ピアノサステイン	86	フォックストロット	09 ジャズギター
41	ロックバラード	05 エレクトリックオルガン	87	ジャイブ	11 エレクトリックギター
42	ロカビリー	29 テナーサククス	88	スローフォックス	27 クラリネット
43	ブギウギ	41 ホンキートンクピアノ	89	パソドブレ	14 バイオリン
44	ロックブギ	77 オルガントリオ	90	ウィンナワルツ	17 スtrings
45	ロックシャッフル	24 プラスアンサンブル	その他		
46	ロックバラード	22 トロンボーン	91	ショーチューン	73 ピアノブロック
ラテン					
47	メレンゲ	21 トランペット	92	演歌	29 テナーサククス
48	サンバ	19 ビブラフォン	93	マーチ1	82 トランペットデュエット
49	チャチャ	54 プラスアンサンブルデュアル	94	マーチ2	25 ピッコロ
50	モダンチャチャ	22 トロンボーン	95	ボルカ1	07 アコーディオン
			96	ボルカ2	27 クラリネット
			97	ボレロ	83 ホルンデュエット
			98	ワルツ1	55 ファンタジー1
			99	ワルツ2	17 String
			100	ニューエイジ	48 ピアノパッド

## ジャムトラック

ジャムトラックナンバー/ジャムトラック名	ボイスナンバー/ボイス名	テンポ	ジャムトラックナンバー/ジャムトラック名	ボイスナンバー/ボイス名	テンポ
21	ダンス	48 ピアノパッド	31	ジャズブルース	66 ピアノ/ビブラフォン
22	ラップ	18 オークストラヒット	32	ジャズワルツ	29 テナーサククス
23	ファンク	49 ピアノとビブラフォン	33	フュージョン	42 コーラスエレビ
24	ソウルバラード	29 テナーサククス	34	ボサノバ	26 フルーツ
25	マイナーブルース	01 ピアノ	35	サンバ	82 トランペットデュエット
26	ヘビーメタル	13 ディストーションギター	36	タンゴ	07 アコーディオン
27	ブギウギ	01 ピアノ	37	スカ	22 トロンボーン
28	ロックロール	05 エレクトリックオルガン	38	カントリー	78 バイオリンカントリー
29	リズム&ブルース	54 プラスアンサンブルデュアル	39	マーチ	21 トランペット
30	スローロック	50 エレビパッド	40	ニューエイジ	50 エレビパッド

ジャムトラックのコード進行に従って、途中でボイスが変わる場合があります。

# 故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
[STANDBY/ON]ボタンを押したときに、ポツンという音がある。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
音が歪んだり、突然出なくなったりする。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
PSR-125から雑音が出る	PSR-125の近くで携帯電話を使っているためです。 (または呼び出し音が鳴っています。)	PSR-125の近くでは携帯電話の電源を切ってください。PSR-125の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
同時に押さえた鍵盤の音が全部鳴らない。	最大同時発音数を超えています。	故障ではありません。PSR-125の最大同時発音数は12音です。自動伴奏も含めて最大12音の範囲で鳴らすことができます。 (13ページ参照)
押さえる鍵盤によって音質や音量が異なる。	ボイスの中には、よりリアルな楽器表現を可能にするために、いくつかの鍵域に分けて楽器音をサンプリングするマルチサンプリングという方法で作られたものがあります。それらのボイスは、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。
電源が入らない。	続けて[STANDBY/ON]ボタンを押すと、電源が入らない場合があります。	電源を切ったあとは、約2秒ほどたってから、[STANDBY/ON]ボタンを押してください。

## オプション(別売)商品のご紹介

### 電源アダプター

PA-3B	¥2,000
PA-3C	¥2,000

### ヘッドフォン

HPE-150	¥4,000
HPE-30	¥3,000

### ソフトケース

SCC-32	¥6,000
SCC-36	¥8,000

### キーボードスタンド

L-2L	¥4,000
L-2C	¥6,000

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

# 仕様

キーボード	レギュラーサイズ49鍵 (C1～C5)	
ボイス	AWM100音色(最大同時発音数12)	
スタイル	100スタイル	
オートアカンパニメント		
フィンガリング	マルチフィンガリング	
ソング	デモ曲：20(マイナスイオン機能付)	
	ジャムトラック：20	
コントロール	[STANDBY/ON]ボタン、[VOICE]ボタン、[STYLE]ボタン、[SONG]ボタン、 ナンバー[1]～[0]、[+]、[-]ボタン、[TEMPO+]、[TEMPO-]ボタン、[MINUS ONE]ボタン、[START/STOP]ボタン、[ONE TOUCH SETTING]ボタン、 [SYNC START/FILL IN]ボタン、[VOLUME]コントロール	
リアパネル端子	DC IN 12V端子、PHONES/OUTPUT端子	
アンプ実用 最大出力	(電源アダプター使用時)	6.3W(EIAJ)
	(乾電池使用時)	4.9W(EIAJ)
スピーカー	10cm 4	
電源	電源アダプターPA-3BまたはPA-3C、単2乾電池(1.5V)×6	
電池持続時間 (マンガン電池使用時)	約30時間 (連続デモ演奏時、ボリューム約70%)	
消費電力 (電源アダプターPA-3B使用時)	12.7W	
寸法(幅×奥×高)	870×287×113mm	
質量	3.4kg	
同梱品	譜面立て、取扱説明書(本書)	

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

## 保証書

本機には保証書がついています。  
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## 消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

## 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。  
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

## 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラクターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社]CSセンター	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-1158

## ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-5272  
受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

## EM営業統括部

企画推進室	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5476
北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022) 222-6147
名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL (052) 201-5199
大阪営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2130

## PA・DMI事業部

EKB営業部 CL・PK営業課	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL (053) 460-3275
-----------------	-----------	---------------	--------------------

住所および電話番号は変更になる場合があります。

## インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・PK CLUB(ポータブル楽器ホームページ) <http://www.yamaha.co.jp/product/pk/index.html>
- ・ヤマハマニュアルライブラリー <http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」  
ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com>



# ヤマハ株式会社